

第1回 環境・エネルギー材料連続セミナー（NIMS-MEE 連続セミナー）

「バイオマスと材料 ～極限環境において材料に求められる耐食性～」

主催：独立行政法人物質・材料研究機構（NIMS）

日時：平成20年1月31日（木）15時00分～17時30分

（懇親会 17時30分～18時30分）

場所：独立行政法人物質・材料研究機構 東京会議室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-2-2 虎ノ門30森ビル2F 201号室

最寄駅：日比谷線神谷町駅 4分、銀座線虎ノ門駅 5分

<http://www.nims.go.jp/jpn/visiting/tokyo-kaigishitsu.html>

講演1 「高温複合ガス環境下でのクロミア皮膜の生成とその劣化」

黒川 一哉教授 北海道大学 エネルギー変換マテリアル研究センター

概要：ステンレス鋼などに形成されるクロミア皮膜は保護性皮膜として知られている。しかし、雰囲気中に水蒸気や塩素などが含まれているとそのクロミア皮膜は蒸発し保護性を失う。また、熔融塩との反応によっても劣化する。このような現象を通して、金属材料は著しい損傷を起こすとともに、クロミア皮膜はしばしば六価クロムとして放出されることになる。本講演ではこのような現象についての概要を説明する。

講演2 「腐食常識への挑戦」

升田博之グループリーダー 物質・材料研究機構 材料ラボ

概要：腐食の常識と思われていることにいかに間違いが多いかを種々の実験で証明した例を挙げ、耐食材料を開発する上でいかに常識にとらわれないで丁寧に実験することの重要性について述べる。またバイオマス関連の腐食として下水管の微生物腐食についても簡単に紹介する。

コメンテーター： 松崎武彦 研究開発コーディネーター

(財)高知県産業振興センター

参加申込み先：社団法人 未踏科学技術協会 エコマテリアル・フォーラム

担当：津田祥子

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-10 新橋アマノビル6階

TEL 03-3503-4681 FAX 03-3597-0535

E-mail ecomat@sntt.or.jp